

会社	会社名	綜研化学株式会社		
概要	従業員数	454	業種	化学工業（アクリル粘着剤等製造販売）

1. ねらい

社員が職業生活と家庭生活を両立させることができ、社員全員が働きやすい職場環境をつくることによって、すべての社員の十分な能力発揮を促進し、経営理念に定める「働く喜びの実現」に結びつける。

2. 施策内容

①ワーク・ライフ・バランス推進施策

- ・フレックスタイム制（コアタイム有）および研究部門での裁量労働制の導入
- ・フレックス夏季休暇制の導入（製造部門を除き7～9月中の任意取得）
- ・小学校卒業までの看護休暇
- ・社内報による制度の周知

②長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進

- ・年間総実労働時間目標 1,800 時間
- ・職制がタイムリーに勤務時間を管理できるシステムの導入
- ・部署毎の定時退社日設定と実践およびその監視
- ・個別有給休暇取得目標（平均 11.6 日）
- ・有給休暇取得計画表による計画的有給消化促進
- ・年末年始、GW、飛び石連休の有給休暇取得奨励

③男性の仕事と育児・子育て両立支援

- ・配偶者出産休暇 2 日付与（有給）
- ・男性社員の看護休暇取得
- ・育児休業経験者の社内報での紹介
- ・社内報による周知

④仕事と介護の両立支援

- ・社内報による介護休業制度の周知
- ・所定労働日 100 日の介護休業制度
- ・カウンセラーによる介護相談窓口の設置
- ・社内融資制度対象に介護目的追加

3. 取組実績・効果

2011 年からワーク・ライフ・バランスの向上に取り組み、時間外勤務の削減を皮切りに諸施策を展開してきたが、ようやくその成果が表れてきた。月 2 回の定時退社は完全実施に至り、時間外勤務も前年比平均月 2 時間減少、有給休暇の取得日数は前年と変化はないものの、年間総労働時間 1,800 時間の達成にあと十数時間というところまでは来ている。

育児休業は制度の理解と浸透により、出産を理由とした退職者はゼロとなった。社内も当然という感覚になってきているが、男性の取得実績は未だ 1 名のみである。介護では、休業の事例は未だなく、家族の状況に触れられたくないという感情が存在しているのではと見ている。

いずれにしても、育児・介護に限らず相談窓口としての専門家によるカウンセリング体制は従業員の安心に寄与していると評価している。